

授業科目

小児言語障害学演習

担当教員名 山岸 達弥、渡辺 時生	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎			◎

授業の概要

小児言語障害学I・II・IIIで学んだ基礎知識をもとにして、小児言語発達障害領域の検査と診断、治療の技法を身につける。

授業の目的

言語発達障害の鑑別・診断・評価を修得する。
検査の種類とその利用、検査の実際（施行、採点、解釈、翻訳）と報告書の書き方を修得する。

学習目標

- 1.各種検査を理解し、適切な検査法を選択できる。
- 2.検査の施行、採点、解釈、翻訳（報告書を含む）の各段階を実施できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	検査の実際（1）	演習	山岸 達弥
2	検査の実際（2）	演習	山岸 達弥
3	検査の実際（3）	演習	山岸 達弥
4	検査の実際（4）	演習	山岸 達弥
5	検査の実際（5）	演習	山岸 達弥
6	検査の実際（6）	演習	山岸 達弥
7	検査の実際（7）	演習	山岸 達弥
8	検査の実際（8）	演習	渡辺 時生
9	検査の実際（9）	演習	渡辺 時生
10	検査の実際（10）	演習	渡辺 時生
11	検査の実際（11）	演習	渡辺 時生
12	検査の実際（12）	演習	渡辺 時生
13	検査の実際（13）	演習	渡辺 時生
14	検査の実際（14）	演習	渡辺 時生
15	まとめ	講義	山岸 達弥

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	言語聴覚士のための言語発達障害学	石田宏代、大石敬子	医歯薬出版株式会社	2008年	4,400円+税	
その他の資料						

評価方法

レポート 100%

履修上の留意点

演習時には他人任せにせずに、各自積極的に参加すること。
各回の演習内容およびグループ構成は、追って連絡する。

オフィスアワー・連絡先

山岸：火曜日12：00～13：00
yamagisi@nuhw.ac.jp

渡辺：月曜日12：10～13：10

tokio-w@nuhw.ac.jp